

事務事業評価表 平成22年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 交通環境の充実
 基本事業 克雪による道路環境の整備

事業名 **自治会排雪支援事業**

[0276]

部名	建設部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	対象
課名	土木事務所	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市道</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>市民の冬期間における道路の交通確保と置き雪解消。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>市では自治会が行う道路の排雪に対し、排雪用ダンプカー(運転手付き)と排雪用ロータリー車(運転手抜き)を半日以上単位で年1回を限度に無料で貸し出しています。安全確保のため誘導員や雪を集める為のショベルローダーは自治会で用意します。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市道総延長	km	824	827	827	827
対象指標2						
活動指標1	排雪延長	km	310	264	318	317
活動指標2						
成果指標1	自治会排雪実施率	%	70	67	71	72
成果指標2	自治会排雪実施自治会数	自治会	87	84	87	89
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	133,044	94,585	132,003	101,337
正職員人件費(B)		千円	1,675	1,672	1,660	1,666
総事業費(A) + (B)		千円	134,719	96,257	133,663	103,003

費用内訳	
21年度	使用料及び賃借料 132,003千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	生活道路における冬期間の快適性を求める声は年々高まり、自治会排雪に対する市民の期待も大きい。
--------	--	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由・
根拠は？

道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない（道路法42条）

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由・
根拠は？

生活道路の交通確保や置き雪対策に大きく貢献する。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由・
根拠は？

降雪量により延長は変動しているが、地域自治会には定着してきている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

生活道路の排雪の充実により成果向上の余地大。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由・
根拠は？

これまでも経費削減の工夫を積み重ねており、これ以上のコスト削減は難しい。